

びっくり!

2015年9月9日から10日にかけて埼玉県から三重県にかけての、1都7県で約15万人にひなんかん告が出た台風18号がやってきました。
埼玉県でも電車が止まり、道路



のかんくなど、被害がでました。
9月10日の天気図。台風が近づいてきています。
9月1日に茨城県の鬼怒川の堤防が切れ、大量の水によって自衛隊が活動する事態になりました。

朝起きたら家の前が川になってた!!

2015年
9月10日

9月10日の朝、家の前。色々と水が流れていました。

洪水こわい!!



ふたんの道

2015年9月10日の朝、小林家の前の道路に昨夜からふった雨水が蓄み、川のようになっていました。もう少しで家が水没しなるところでした。

どうやって大車の被害を防ぐ?

治水新聞

平成29年8月21日 発行
5年1組 小林 瑠音

1947年(昭和22)9月に、大変大きな「カスリーン台風」という台風が来たことをきっかけに利根川の「治水」が行われるようになりました。

利根川の主な治水

利根川は昔から大きなはんらんをして水害の多い川でしたが、上流から下流までの治水を行うことで水害を防ぐ努力がされています。

そのほかにも...

- かんきカメラ
川のそばのところに、川の様子をかんきするカメラをつける。
- はんらんけいしん板
JR東武東上線などにあり、はんらんの時などに川がどんどん水が溢れることがわかります。



かんきカメラの設置 東武東上線 水害防止看板

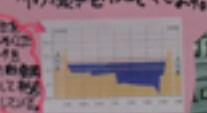
ダム
大量の水が一度に流れないようにする役目がある。



利根川の治水 東武東上線 (水害防止)

水位かんき所

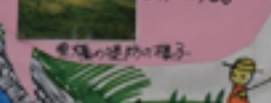
川の水面の高さをかんきし、川の様子をはかれます。



利根川上流の水位かんき所

ご岸・堤防

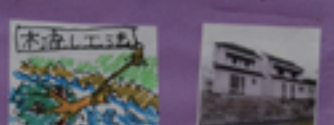
川のそばをコンクリートブロックなどで固めて、川の両側を高くして水がはんらんしないようにする。



利根川の治水 堤防の様子

昔は...

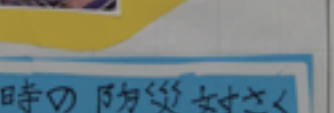
はんらんしたら水害がひどいので、川がはんらんした時にはんらんするための水害(みづが)を作ったり、堤防を固めるのをやめたために木にひもをつけて、はんらんした水を止めることができました。



昔の治水 水害防止

治水池・調整池

川のそばをコンクリートブロックなどで固めて、はんらんした水がはんらんしたときに、下流に流れる量を調整して、はんらんを防ぎます。



利根川の治水 調整池の様子

まとめ

昔は「川ははんらんするもの」として、はんらんした時の防災対策を一番に考えていたように思いました。

何度も起きた大きな水害により治水の大切さを思い知らされ、今は、水害が起きる前に「予防」をするようになっていきます。

しかし今でも、大雨のときには洪水の危険があることを知って、少しでも被害を少なくするための努力や協力が大切だと思いました。